

電動アシスト自転車 K6

取扱説明書

本製品のブレーキは

- ・左レバーが前輪ブレーキ
 - ・右レバーが後輪ブレーキ
- となります

注意!

取扱説明書は大切に保管してください。
取扱説明書をよく読み、電動アシスト自転車の性能を理解するまで、電動アシスト自転車を使用しないでください。

ご使用になる前に

安全と権利を守るため、電動アシスト自転車を使用する前に必ず以下をお読みになり、以下の点にご注意ください。

- 1.安全のため、取扱説明書をよく読み、電動アシスト自転車の性能を理解するまで、電動アシスト自転車を使用しないでください。
- 2.取扱説明書には、電動アシスト自転車の使用、整備、保証等に関する重要な内容が記載されています。大切に保管し、よくお読みください。
- 3.けがをしないように、操作できない人に電動アシスト自転車を貸さないでください。
- 4.本製品を安全にご使用いただくために、自転車全体の関連回路や部品をご自身で分解・改造しないでください。
- 5.雨や雪の日に乗るときは制動距離が長くなりますので、減速に注意してください。大雨などの悪天候の場合は、外出を避けてください。
- 6.電動アシスト自転車に乗る時には安全ヘルメットを着用してください。
- 7.電動アシスト自転車を避難階段、通路、非常出口に駐車しないでください。
- 8.電動アシスト自転車は、法令に従って人や物を運ぶ必要があります。
- 9.環境を汚染しないように、使用済みのバッテリーは適切に処理してください。(P20参照)
- 10.充電中は可燃物に近づけないでください。充電時間は長すぎないようにしてください。
- 11.充電アダプターは、バッテリーのモデルと一致しているものを使用してください。
- 12.お子様をお連れの場合は、安全上のご注意をお願いいたします。
- 13.ハンドルまたはサドルを調整するときは、ハンドルバーとサドルポストの安全線が露出しないように注意してください。

重要事項：

- 1.このマニュアルのパターンとテキストの説明は、操作を説明するためにのみ使用されており、製品検査の基礎としては使用されていません。
- 2.このマニュアルのイラストは実際の製品と一致しない場合があり、実際の販売スタイルが優先されます。
- 3.電動アシスト自転車は一人しか乗れません。人を乗せないでください。

目次

ご使用になる前に

1.各部品の説明図	1
2.ご使用前の確認	2
3.電動アシスト自転車の重要な部品の使用方法	
3.1 充電アダプター	3
3.2 バッテリー	4
3.3 電動ホイールハブ	7
3.4 コントロールシステム	8
4.ダッシュボード機能の説明	10
5.自転車の折りたたみ方法	14
6.調整できる部品の説明	18
7.注意事項	21
8.製品仕様	23
9.保証について	24

本製品を使用する前に、この免責条項をよくお読みください。

すでに本製品の使用を開始している場合は、この免責条項のすべての内容を理解し、承認したものと見なされます。

本製品を使用する際は、取扱説明書の指示に従い、法令および条例を遵守する必要があります。以下の状況により悪影響が発生した場合は、ユーザーの責任となります。

- 法令および条例違反。
- 本説明書の要件に従って使用されていない。
- スピード違反、過負荷。
- 構成の許可されていない分解、組み立て、または変更。
- 不適切な操作。

製品が故障した場合は、販売店までご連絡ください。

本製品を使用するときは、注文履歴を証明できる書類もしくはデータを適切に保管してください。証明書が不完全な場合、十分なアフターサービスを提供することができません。

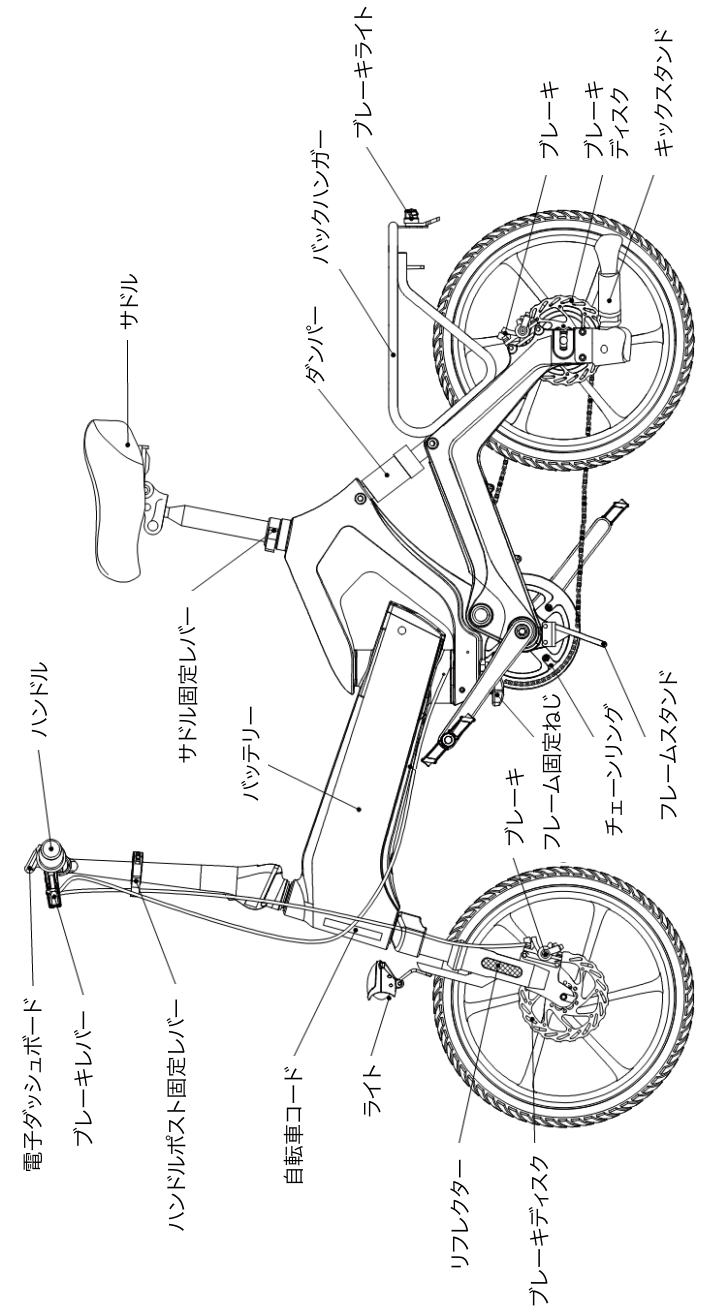
初回ご使用前に、必ず十分にタイヤの空気を入れた状態にしてください。

本製品のバルブは米式です。

輸送時は空気膨張による破裂を防ぐため、タイヤの空気圧を下げた状態でお届けしております。

初回ご使用前に、必ず十分に空気を入れた状態にしてください。

1. 各製品の説明図



2.ご使用前の確認

1.電動アシスト自転車は、バッテリーを補助エネルギーとして使用し、電動アシストの機能を実現できる自転車です。電動アシスト自転車のすべての電気回路および電気接続は、専門家の指導の下でデザインおよび製造されており、ユーザーが自分で変更または再接続することは許可されていません。

2.新しい電動アシスト自転車を購入した後、必ず電動アシスト自転車の始動、調整、ブレーキ、および停止の操作に熟知し、練習してください。以下の点に特に注意してください。

●異常動作(ハンドルリセット後、電動アシスト自転車の速度を落とせない、ハンドルが破損してリセットできないなど)が発生した場合は、落ち着いて、両手で左右ブレーキレバーを操作し、電子ブレーキおよび機械ブレーキを使用して、電動アシスト自転車を停止します。

●電動アシスト自転車を使用する前に、安全を確保するために、自転車のブレーキシステムの作動状態を確認してください。

3.充電アダプターは充電中に発熱しますので、充電中は充電アダプターのシェルに何かかぶせず、放熱しやすい状態にして下さい。高温多湿の環境では使用しないでください。充電アダプターの損傷を防ぐため、密閉容器(トランクなど)で充電しないでください。

4.電動アシスト自転車の周りで子どもを遊ばせないでください。特に、事故を防ぐために、子どもが電動アシスト自転車のスイッチを勝手に触らないようにしてください。

5.電動アシスト自転車は、モーターシャフトが水没する可能性のある道路を走行しないでください。雨の中で駐輪したり運転したりするときは、これらの電気部品が湿気によって損傷するのを防ぐために、電子ダッシュボード、スイッチ、およびハンドルをレインカバーで覆ってください。

6.乗る前の点検に異常があった場合は、専門の技術者または販売店に修理を依頼してください。

(1)電源回路、照明回路などの状態。

——最寄りのバイク販売店

(2)前後ブレーキが正常に作動するか。

(3)ハンドルと前後タイヤの締め付け状態。

(4)タイヤの空気圧。

(5)リフレクターが破損または汚染されていないか。

——最寄りの自転車販売店

3.電動アシスト自転車の重要な部品の使用法

3.1 充電アダプター

充電アダプターはインテリジェントなモニタリング充電技術を採用しており、バッテリーの寿命を効果的に延ばし、充電の安全性を確保できます。

1.充電アダプターの正しい使い方



①「充電状態」:充電中であることを表示する赤ライトが点灯します。充電が完了したら、緑ライトが点灯します。

この充電器は、無負荷および逆接続保護を備えています。無負荷時の出力ポート検出電圧は54.6V以下が正常です。このファンの動作は温度と電流によって制御されます。充電プロセス中に自動的に停止したり、断続的に動作したりする場合があります。

②充電方法

充電口のゴム栓を外し、充電アダプターを接続して充電します。充電が完了したら、ゴム栓を充電ポートに戻してください。

(注:バッテリーは充電のために取り外すこともできます。)

2.充電に関する安全上の注意事項

①感電を防ぐため、サドル下の充電口の接点に手で触れないでください。

②乗らない状態で、バッテリー不足を表示したら、すぐに充電してください。

③充電プラグ、充電ケーブル、ソケットが破損、腐食、錆びている場合、または接続部が緩んでいる場合は、火災、感電、短絡などの危険を防ぐために充電しないでください。

- ④充電中は自転車を動かさないでください。充電後は、電源ソケットに充電アダプターを差し込まないでください。ほこりや異物がたまり、火災、感電、ショートなどの危険があります。
- ⑤周囲温度が0～45℃の環境で充電してください。最高の効果を得るには、20℃～25℃の温度で充電することをお勧めします。
- ⑥充電器は、乾燥した換気の良い場所で使用または保管してください。液体や金属の削りくずが充電器に浸透して、充電器内部の短絡によって充電器が損傷するのを防ぐ必要があります。
- ⑦バッテリーと充電器は、子どもが触れない安全な場所に置いてください。
- ⑧ほこり、湿気の多い場所で充電器やバッテリーボックスを使用しないでください。落下を防ぐため、しっかりと置いてください。⑨充電器を持ち運ぶ時は、衝撃を避けるためにクッションで包んでください。
- ⑩充電器の出力性能は一般的な充電器より高く設定しております。作動時に最高温度が環境温度+40℃まで上昇する場合があります。

3.2 バッテリー

1. バッテリーを使用するための注意事項

- ①初回運転前に新しいバッテリーを完全に充電してください(※注:最初の5回の充電は10時間以上、12時間以内です)。
初回充電以降の充電時間は5~6時間です。
- ②バッテリー残量が完全になる前に充電してください。これは、バッテリーの寿命を延ばすのに役立ちます。バッテリーを長期間使用しない場合は、必ず完全に充電した状態で保管し、月に1回充電してください。バッテリー残量がない状態で保管しないでください。
- ③充電中、バッテリーボックスの表面温度が高すぎるかどうか、および充電器のライトが「緑」に変わるかどうかに注意してください。12時間充電した場合、ライトの色が「赤」から「緑」に変わらない、またはバッテリーの表面温度が高すぎる場合は、すぐに電源を切り、販売店へお問い合わせください。
- ④バッテリーは20℃～25℃の温度で保管するのが最適です。

重要事項

- バッテリーの充電には、必ず付属の充電器を使用してください。
本製品に他のブランドの電池を使用しないでください。
低温下では電池容量が20%～30%低下します。対応する航続距離も縮小されます。
- バッテリーを個人的に改造または組み立てないでください。
 - 直射日光を避け、熱源、アルカリ性物質にさらさないでください。バッテリーの寿命が短くなります。
 - バッテリー容量が大幅に低下した場合は、販売店に連絡して、バッテリーの低下が正常かどうかを確認する必要があります。必要に応じて、メンテナンスを通じてバッテリーの動作状態を改善できます。
 - バッテリーの不正な取り外しやその他の人為的な損傷の場合、保証は提供されません。

バッテリーボックスの取り外し



1. フレーム下のフレーム固定ねじを時計回りに回して緩めます。ねじを完全に緩めると、本体は折りたたみ可能な状態になります。
2. 本体を折りたたんで、しっかりと地面に支えた後に、充電プラグ差込口のふたを外します。
3. バッテリーキーを挿入します。ロックが完全に緩むまでキーを回し、バッテリーボックスのハンドルをつかみ、バッテリーボックスを引き出します。
4. 取り外したバッテリーは別途充電できます。

● バッテリーボックスを取り外すときは、バッテリーボックスが落下しないように、両手で支えるように注意してください。

● 取り外したバッテリーは別途充電できます。

※ 専門家以外のメンテナンス担当者は、バッテリーを分解しないでください。

!!警告!!

● 自転車を運搬するときはバッテリーを外してください。

(自動車への積載時など、運搬の際に不意にペダルが押された場合にセンサーが感知し、車輪が回転し、巻き込まれてけがをするおそれがあります。)

● バッテリーシステム: バッテリーと車体のベースがしっかりと取り付けられているか、バッテリー残量が十分かどうか確認してください。リフレクターが損傷したり汚染されている場合は使用しないでください。

3.3 電動ホイールハブ



1. 電動ホイールハブのメンテナンス

電動アシスト自転車を使用する前に、電動ホイールハブの留め具が緩んでいないかチェックしてください。ユーザーは通常、電動ホイールハブの内部部品をメンテナンスする必要はなく、ナットが緩んでいることに気付いた場合は、すぐにナットを締めるか、販売店に修理を依頼してください。

2.注意事項

- ①電動ホイールハブの動作中に少量のノイズが発生しますが、これは正常な現象です。
- ②電動アシスト自転車が後進するときに重いと感じる場合は正常な現象です。
- ③水深が電動ホイールハブの中心を超える場合、乗らないでください。水深が電動ホイールの中心を超えると、電動ホイールハブに水が浸透し、電動ホイールハブが故障する場合があります。
- ④電動ホイールハブは強い衝撃を受けないようにしてください。強い衝撃はモーター内部の損傷や故障の原因となります。
- ⑤電動アシスト自転車は、開けた空間で始動させてください。障害物により電動アシスト自転車が始動できない場合は、繰り返し始動せず、障害物を取り除いてから電動ホイールハブを始動してください。

コントロールシステム:

コントローラー、電子ダッシュボード、ブレーキレバー

1.コントロールシステム使用上の注意

①コントローラーの内部はより大きな電流が流れているため、熱を発生します。長時間の利用では表面温度が高くなりますので、手で触れないでください。

②洗車の際は、コントローラーの故障を防ぐため、下から上に洗わないでください。

2.コントロールシステムの他の機能

低速ギアでは、電動アシスト自転車の操作がより安定し、コントロールが容易になり、電動アシスト自転車の連続走行距離が長くなります。

高速ギアでは、電動アシスト自転車はより速い走行が可能になり、坂道でも走行が容易になります。


3.4 コントロールシステム



4. ダッシュボード機能の説明



ボタン説明

電源ボタン: 約2秒間長押しするとアシストの電源ON/OFFを切り替えます。 

電源ONの状態ではボタンを1回押しと表示切替ができます。

ODO — 積算距離(累計走行距離)

TRIP — 走行距離(電源をOFFにするまでの走行距離)

VOL — 電圧計(作動中の電圧、54Vが標準値)

TI — 走行時間(電源ONにしてからの作動時間)

+(-)ボタン

ボタンを押すごとにアシストレベルをアップ(ダウン)出来ます。

アシストレベルは0~5に設定可能です。

0...アシストなし

1...最大11.7km/hまで

2...最大14.3km/hまで

3...最大18.2km/hまで

4...最大22.1km/hまで

5...最大24.7km/hまで

—ボタンを長押しすると、最大6.5km/hのアシストが作動します。

注意事項

※電動アシスト自転車を10分以上使用しなかった場合、自動的に電源が切れます。

※[+]ボタンを長押しすると画面にライトマークが点灯しますが、実際には点灯しません。ライト点灯はハンドル右側のライトボタンを押してください。

※[+]ボタンと[-]ボタンを同時長押しすると設定モードに移行します。このモードは専門スタッフの指示があるまで起動しないでください。もう一度[+]ボタンと-ボタンを同時長押しすると設定モードを終了します。

※電子ダッシュボードにはUSB差込口がありますが、最大出力が5V0.5Aのため充電には適していません。

※自転車に異常が発生した場合は、必ず主電源スイッチをオフにしてください。

※アシストの点検

キックスタンドを立ててハンドルを傾け、電動アシスト自転車の後輪を浮かせてください。主電源スイッチをオンにした後、電動アシスト自転車のアシスト性能、電子ブレーキが正常かどうか、ブレーキ性能が正常かどうかを確認してください。異常が発生した場合は、電動アシスト自転車を販売店に送付し、点検・修理を行ってください。

エラーコード

電動アシスト自転車のコントローラシステムに障害が発生すると、ディスプレイにエラーコードが表示されます。表示された場合は販売店へお問い合わせください。

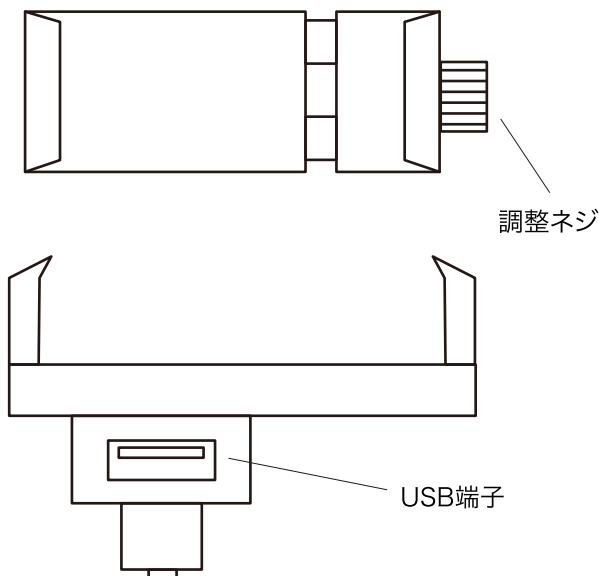
※エラーコードが表示された場合は、すぐに運転を停止してください。

ライト・ホーンボタン:



ハンドル右側にはライトボタン、ホーンボタンがあります。
夜間・暗所走行時は必ずライトを点灯してください。
ホーンは法令に従い適切に使用してください。
※ダッシュボードの電源がOFFの状態では、ライト、ホーンは使用できません。

スマートフォンホルダー模式図



5. 自転車の折り畳み方法



1. 初めてパッケージから取り出した自転車は折り畳み状態です。



2. ハンドルフレームを矢印の方向に持ち上げて、タイヤフレームに合わせてください。



3. 持ち上げたハンドルフレームを矢印の方向にハンドルポスト固定レバーで固定してください。



4. 後部のフレームを矢印の方向に折りたたんで、前部のフレームに合わせてください。



5. フレーム固定ナットを締めて、自転車を固定してください。



6. パッケージからサドルを取り出し、車体の開口部に矢印の方向に合わせて挿入してください。
必要に応じてサドルの高さを調整してください。



7. サドルの高さを調整した後、固定レバーを締め、調整ナットを締めてください。



8. 必要に応じてサドルの前後距離を調整してください。



9.六角レンチを使用して、サドルの下のネジを締めてください。



10.手で折りたたみ式のペダルを起こしてください。



11.ハンドルレバーの角度を調整できます。角度を調整したい場合は、ハンドルの固定レバーを開いて調整してください。



12.必要に応じて角度を調整してください。調整したら、ハンドル固定レバーを閉めてください。



13.完成了ました。

※折りたたむ必要がある場合は、逆の順序で折りたたんでください。

●乗る前のチェック

安全のため、次の項目を定期的を確認してください。

タイヤシステム: タイヤの空気圧が正常かどうか、タイヤの表面が摩耗しているかどうか、ハンドルやホイールなどの留め具はしっかりとしまっているか必ず確認してください。

補足

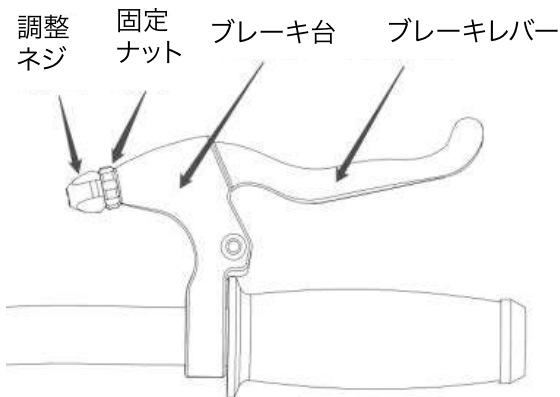


ペダルの折りたたみ方法

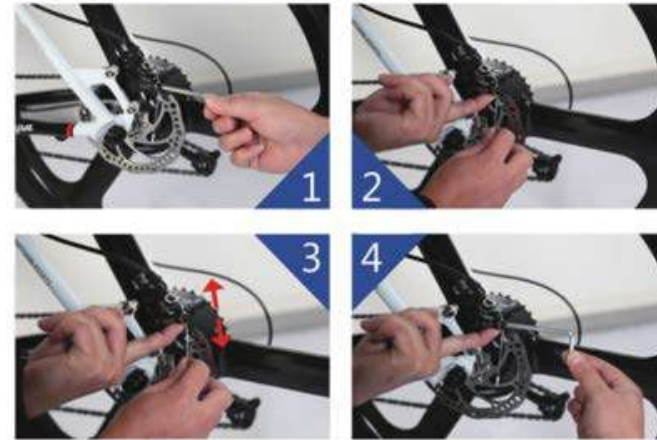
ペダルを矢印の方向にしっかりと押し、折りたたんでください。

6.調整できる部品の説明

1.ブレーキレバーの調整



2.ブレーキの調整



1. ナットを緩めるのに適した六角レンチを用意してください。
2. ナットを緩めた後、左手をディスクブレーキ装置に置き、右手でワイヤーを保持します。
3. 左手でディスクブレーキを持ち上げ、右手で鋼線を外側に引きます(左手と右手は同期できません)。
4. ナットをしっかりと閉めてください。

本製品のブレーキは

- ・左レバーが前輪ブレーキ
- ・右レバーが後輪ブレーキ
- となります

- 電動アシスト自転車には前後ブレーキが装備されており、使用時には左右のブレーキレバーを握ってブレーキ効果を発揮します。電子ブレーキの役目もあります。ブレーキがインチャングしているとき、モーターが徐々に回転を停止するように信号を自動的に出します。
- 主電源スイッチを入れても、電動アシスト自転車が発進できない場合があります。たとえば、かばんをブレーキレバーに掛けてしまうと、スイッチに触れて電動アシスト自転車を始動できません。この場合、バッグを外してブレーキをリセットしてください。
- ブレーキシステム: 左右のブレーキのストロークが半分の場合、電動アシスト自転車は停止することを確認してください。

3.ハンドルとサドルの調整

ハンドルバーの固定ネジを緩めます。ハンドルバーの前端に立ち、前輪を両足で固定し、両手でハンドルバーを握ります。ハンドルバーの水平チューブを車体に対して90度の角度に調整し、ハンドルバーのコアをロックしてネジを締めます。ハンドルバーやサドルの高さを調整するときは、ハンドルバーやサドルの安全ラインマークが露出しないように注意する必要があります。また、芯ねじの締付トルクは18N.m、クロスバー締付ボルトの締付トルクは18N.mです。



7.注意事項

A.運転中に注意が必要な事項：

- 交通ルールを厳守し、交通標識に注意してください。
- 曲がり角や下り坂を走るときは、減速してください。また、急な旋回は避けてください。
- 雨や雪の中で運転するときは、事前にブレーキをかける必要があります。高速運転、急ブレーキを避け、交通事故を防ぐために安全な車間距離を維持してください。
- 雨・雪の日は、傘を使用しないでください。片手での操作は固くお断りいたします。止むを得ず乗る場合は雨かっぱやポンチョを着用してください。
- 雨天時の水浸しの道路を走行する場合、水深が電動ホイールハブの最低点を超えないようにしてください。バッテリーボックス内に水が入ったり、モーターが損傷したりして故障の原因になります。（夜間走行時はライトを点灯し、ターン時は減速してください。）
- ハンドルは、制御不能や事故を防ぐために、物を付けたまま運転しないでください。
- でこぼこした、泥だらけの、砂利のある、階段状の道路での運転は避けてください。タイヤやホイールの変形で車両が損傷し、危険が生じる可能性があります。

B.乗車後の注意事項：

- 電動アシスト自転車は、車両が転倒しないよう安全な場所に駐輪してください。（建物のロビー、避難階段、通路、非常出口に駐輪しないでください）
- 主電源スイッチをオフにする前に、バッテリー残量を確認してください。バッテリーが不足している場合は、次回の使用に影響を与えないようにすぐに充電してください。
- 自転車を降りるときは、主電源スイッチをオフにしてください。駐輪時は電源を切り、盗難防止のためロックしてからキーを抜いてください。（電動アシスト自転車は、高温多湿、腐食性ガスが存在する場所での保管は避け、太陽にさらしたり、長時間雨にさらしたりしないでください）。

8.製品仕様

車両を清掃する際は、以下の点に注意してください。

- a. 中性洗剤で車体を洗った後、水で十分にすすぐ必要があります。次に、柔らかい布で水分を拭き取ります。
- b. 感電の原因となるバッテリーや充電器に水がかからないように注意し、洗車前には必ず電源を切ってください。
- c. 車体を洗うときは、ブレーキドラムが水に直接触れないようにしてください。ハンドル、電子部品等に水がかからないようにしてください。高圧洗車機やスチームクリーナーは使用しないでください。
- d. 充電ケーブルとソケットを水で洗わないでください。汚れている場合は、乾いた布で拭いてください。

⚠ バッテリーの保証期間は製品発送日から12ヶ月となります。

※製品発送日は販売店が管理しております。

バッテリーのリサイクルについて



本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リサイクル可能なバッテリーとなっております。ご使用済の製品は、分解せずにそのまま最寄りのリサイクル協力店に設置してある「充電式電池リサイクルBOX」に入れてください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ(<http://www.jbrc.com>)を参照してください。

型番	K6		
自転車の主な仕様	寸法:長さX幅X高さ	mm	1400×580×1120
	前輪と後輪の中心距離	mm	1020
	全体重量	kg	23.9
	最高スピード	km/h	24
	最高走行距離	km	75
	載貨重量	kg	125
バッテリーの仕様	種類		リチウムイオン電池
	容量	Ah	14
	電圧	V	48
	充電時間	h	5~6
モーターの仕様	種類		永久磁石
	電力	W	250
	定格電圧	V	48
技術仕様	低電圧保護値	V	39±2
	過電流保護値	A	12±2

9.保証について

定期点検

- 自転車の到着後、すみやかに開封し異常がないか確認してください。
- 初回ご使用前に各部にゆるみやがたつき、機能不備がないか確認してください。
- 組立て、初期および定期点検はご使用者様の自己責任となります。
- 安全にお乗りいただくために、ご使用后初めての初回(2か月以内)点検と6か月毎の定期点検をお願いします。
- ブレーキワイヤーは異常がなくても2年に1回は交換してください。
- 点検を行わない場合、異常や故障の発見がおくれ事故発生によるケガの恐れがあります。必ず修理代行店で自転車安全整備士、自転車技師(自転車組立整備士)もしくは、それと同等の技術を有する者により点検、整備をお受けください。

保証期間について

- 保証期間：発送日を基準と致します。パーツごとの保証期間については「アシスト自転車の保証期間一覧」を参照してください。
- 保証対象の判断(無償修理か有償修理か)は、販売店で自転車と保証書の内容を確認した上で、判断させていただきます。
- お問合せ日を不具合発生日と致しますので、自転車に異常を感じた場合は直ちに乗車を止め、点検の上、すみやかに取扱説明書記載のお問い合わせ先へご連絡ください。
- 修理や補修部品の直接販売は販売店では行っていません。
- 保証期間終了後は、有償修理となります。
- 限定生産品につき、部品のご用意が予告なく終了する場合がございます。
- ご不明点はお買い上げの販売店にご相談ください。

アシスト自転車の保証期間一覧

電気部品	モーター	発送日より 12か月
	電子ダッシュボード	
	バッテリー	
	充電器	
	電動ホイールハブ	
	ライト	
	ホーン	
	電源スイッチ	
	コントローラ	
基本部品	フレーム	発送日より 12か月
	ハンドル	
	スタンド	
	チェーンリング	
	フロントフォーク	
	バックハンガー	
	サスペンション	
消耗品	ブレーキ	発送日より 6か月
	サドル	
	ブレーキディスク	発送日より 3か月
	タイヤ	
	ペダル	
アシストセンサー		
※発送日は販売店が管理しています。		

保証/点検の記録

日にち	故障箇所	故障原因	解決方法	担当者	備考

電動アシスト自転車 K6保証書		保証期間:「アシスト自転車の保証期間一覧」に基づく
お客様	お名前	販売元:テイクワンテクノロジー株式会社 〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条 西7丁目1-15あおいビル お問い合わせ先: customer@take1tech.com お問い合わせLINE: @547dyshh(お問合せ可能)
	ご住所	
	電話番号	
	ご購入日	
		年 月 日

